

(4) 市民、民間、専門団体、地区組織、ヘルスボランティア、公民館、学校園などとの連携による健康づくりの推進に関する目標

【目標8項目：14評価】

ア. 指標の状況

策定時の値と直近値を比較		項目数
A	目標値に達した	7
B	目標値に達していないが、改善傾向にある	2
C	変わらない	3
D	悪化している	2
E	設定した指標または把握方法が異なるため評価困難	0

主な目標項目	策定時	中間評価時	目標値	達成度
地域のつながりの強化 (過去1年間に地縁的な活動に参加した人の割合の増加)	33.4%	39.9%	44%	B
健康市民おかやま21推進宣言登録者数の増加	19,683人	38,879人	34,000人	A
健康づくりに関する活動に取り組む企業の増加 (健康市民おかやま21推進宣言登録企業数)	69社	83社	増加	A
健康づくりに関する活動に取り組む団体や施設の増加 (健康市民おかやま21推進宣言登録団体・施設数)	団体 190	団体 392	増加	A
	施設 848	施設 961	増加	A
組織間のネットワーク数の増加及び強化	組織数 800	組織数 1,123	増加及び強化	A

(すべての指標、目標値、達成状況、データの出典の詳細は、65～82ページに掲載しています)

評価結果の概要

- * 地域のつながり(過去1年間に地縁的な活動に参加した人)の割合は、増加してきている。
- * 健康づくりに関する活動に取り組む市民、企業および施設・団体(健康市民おかやま21推進宣言登録)は、いずれも増加してきている。
- * 組織間のネットワーク数の増加及び強化については、連携する組織数も増加している。また、連携の強さを測った「レベル評価(レベル1～4)」においても、最も連携の強い「レベル4」の組織数が最も多く占めている状況であった。

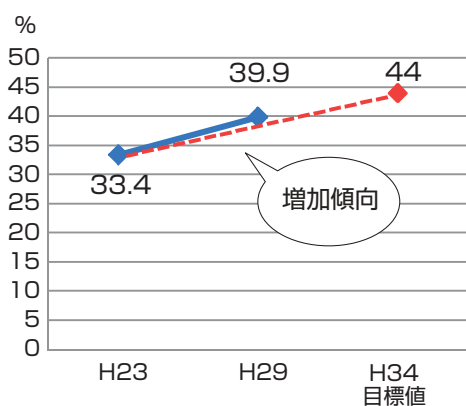
イ. 関連した取組

- ▶ 健康市民おかやま 21 地域推進会議・各地域の特性に応じた活動展開
- ▶ ええとこ発見図の作成および活用
- ▶ 健康市民おかやま 21 推進宣言等登録事業
- ▶ 桃太郎のまち健康推進応援団の取組
- ▶ 事業所を対象とした健康出前講座
- ▶ 大型ショッピングモールでの健康相談の実施
- ▶ 学生健康づくり応援事業
- ▶ スクールランチセミナー

ウ. 今後の課題

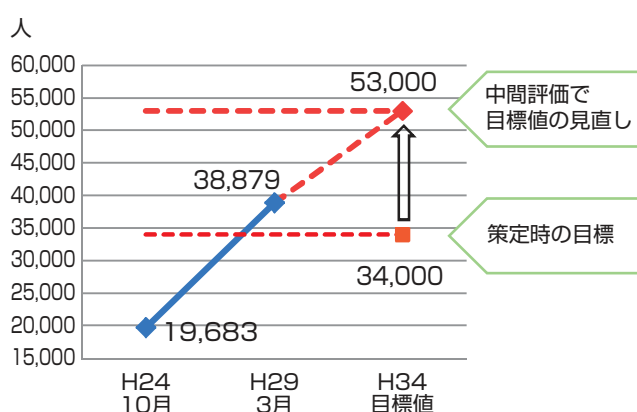
- ・ 学校や企業等、関係する機関と「Win Win」な関係を構築し、健康づくりに関する取組を広げていくことが必要である。
- ・ 地縁関係を強化する活動は、今後も継続することが必要である。
- ・ 健康づくりを含めた「地域包括ケアシステム」の構築に寄与する人材を育成していく。

過去1年間に地縁的な活動をした割合

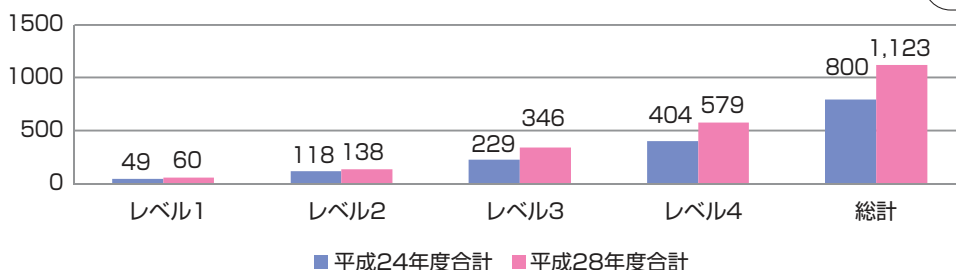


【出典：健康市民おかやま21市民アンケート調査】

健康市民おかやま 21 推進宣言登録者数



地域組織・団体との連携の強さと数の推移
【平成24年度（31か所）と平成28年度（38か所）】



連携する強さ及び、組織数も増加

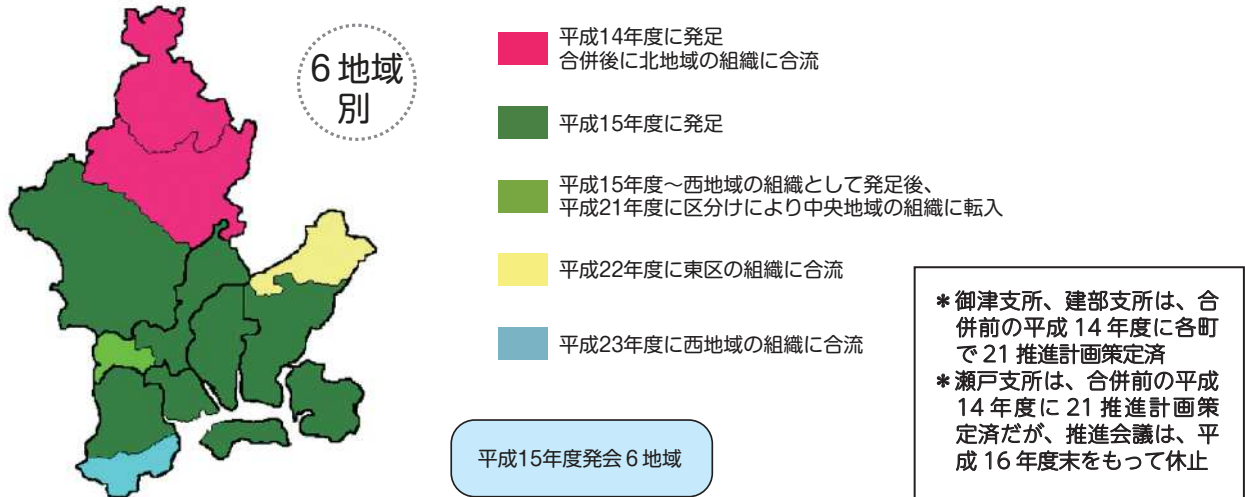
※レベルについては、57ページの「組織関係図作成方法説明資料」を参照のこと

【出典：平成24,28年度組織関係図】

(5) 基本方針（市民主体の推進体制、地域連携の健康づくり）に関する成果

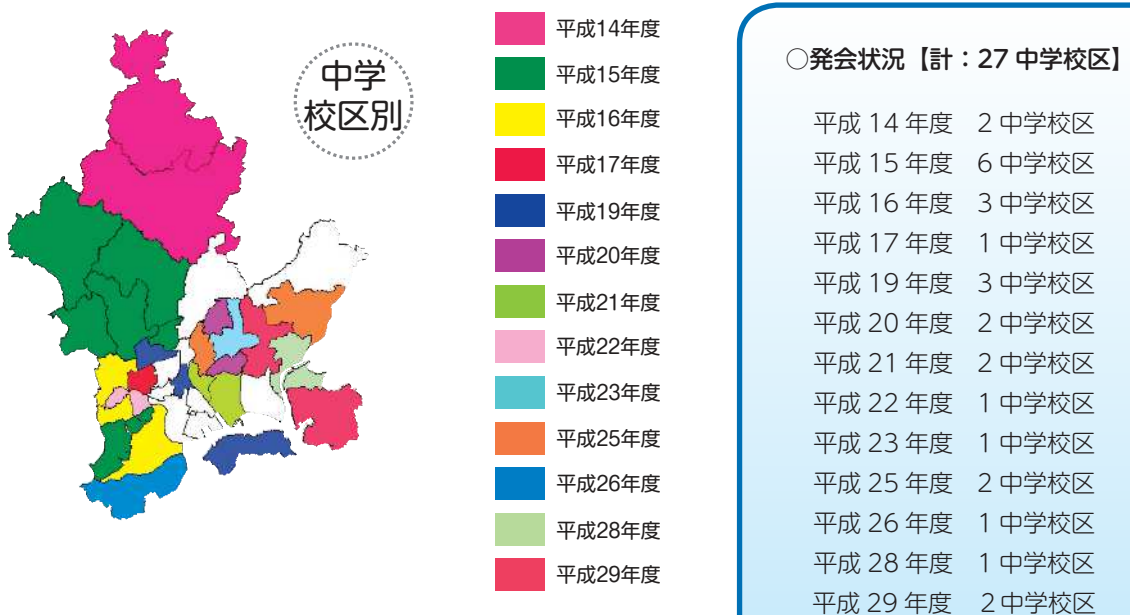
① 地域のネットワークの広がり（推進体制の整備：推進組織地図）

地域で健康市民おかやま21を進めるために、平成15年度に6保健センター単位で、6地域の推進会議を設置し、現在も活動は継続しています。

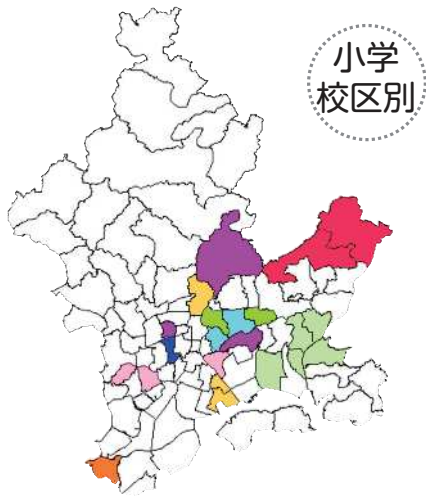


より住民に身近な小単位の組織づくりを目指し、平成29年度までに、中学校区単位27か所、小学校区単位21か所に推進組織ができました。

<健康市民おかやま21推進組織の地域への広がり：中学校区>



<健康市民おかやま21 推進組織の地域への広がり：小学校区>



- 平成18年度以前
- 平成19年度
- 平成20年度
- 平成21年度
- 平成22年度
- 平成23年度
- 平成25年度
- 平成28年度
- 平成29年度

○発会状況【計：21 小学校区】

平成 18 年度以前	3 小学校区
平成 19 年度	1 小学校区
平成 20 年度	3 小学校区
平成 21 年度	2 小学校区
平成 22 年度	2 小学校区
平成 23 年度	2 小学校区
平成 25 年度	1 小学校区
平成 28 年度	5 小学校区
平成 29 年度	2 小学校区



2 「OKAYAMA!市民体操」を通じた、地域の絆づくり

OKAYAMA! 市民体操は、体操を気軽に取り入れ、運動習慣のきっかけづくりにつながることで、また、地域のつながりや世代を超えた交流を図り、絆を深めていくことを目的に広げています。

健康市民おかやま21普及啓発部会のプロジェクトメンバーで体操作成



平成25年度 体操の作成



プロジェクトメンバーで、平成25年に打ち合わせ会議を実施。体操や曲のイメージの意見交換、体を動かして体操の動きを考え、体操をして気づいたことやアイデアを自由に発言したりなど、和気あいあいとした雰囲気です。

お披露目

OKAYAMA!市民体操のCD、DVD、体操説明パンフレットを作成



平成26年2月 健康市民おかやま21 (第2次) 普及啓発イベント開催

平成26年度以降 活用した展開

体操を通じて、地域のつながりが深まりました!

①平成28年3月 「OKAYAMA! 市民体操甲子園」の開催



市民体操の動きを、参加チームの特徴を生かしたアレンジや、衣装も工夫して披露し、出場者も、参加者も笑顔になりました。

②地域での普及活動



高校生ダンス部が敬老会で実施



保育園でも



公民館でも実践



岡山市民デー

YouTubeで、いつでもどこでも市民体操!

OKAYAMA! 市民体操



3 ええとこ発見図（市内36中学校区のウォーキングマップ）の作成とその活用

「地域への愛着」と「運動習慣の定着」により、人と人、人と地域がつながるきっかけの場、地域の組織間のつながり・絆を強める機会、そして新たな関係を築く機会として取り組んでいます。



①平成28年8月
「ええとこ発見図」実践発表会



市内6地域から
取組経過と、
今後の活動に
ついて発表！

②「ええとこ発見図」を活用したウォーキング大会



各学区で実践している
ウォーキング大会では、
ウォーキングコースや地
域の見どころの紹介を行
い、地域の方が参加する
ことで、地域のつながり
を深めています。

4 組織関係図でみる地域でのつながりの強化

健康市民おかやま21の活動も、平成15年度に始まってから第2次に続き、平成29年度で15年目を迎えました。現在どんな組織や団体が、「健康市民おかやま21」に取り組んでいるのか、またそれぞれの組織・団体とどんな連携をとっているのか、など活動の広がりを目で見えるかたちにするため、組織関係図を作成しました。地域のメンバーで話し合いながらこれまでの活動を振り返り、平成23年度にも実施したように、計38地域の推進会議が、平成28年度の状況について図にまとめました。

組織関係図作成組織（38か所：平成28年度末）

センター	組織名	センター	組織名
中央	いきいき元気大元21	中区	富山学区健康市民おかやま21
	三門学区健康市民おかやま21推進会議		東山中学校区健康市民おかやま21
	元気ハツラツ長生き岡輝21		操南中学校区健康市民おかやま21推進会
	吉備・陵南いきいき21推進委員会		財田学区健康市民おかやま21推進会
	みの健康21推進の会		幡多学区健康市民おかやま21推進会
	牧石学区健康21の会		宇野学区健康市民おかやま21
	健康みなんにし21		三敷学区健康市民おかやま21推進会
	岡山中央中学校区		高島・旭竜けんこう21
	石井中学校区健康市民おかやま21		西大寺中学校区健康21推進協議会
北	北市民健康づくり京山会議	東区	旭東健康21
	北市民健康づくり中山会議		山南健康を守る会（仮称）
	北市民健康づくり香和会議		政田学区健康市民おかやま21協議会
	北市民健康づくり高松会議		すこやか上道推進委員会
	北市民健康づくり足守会議		千種学区健康21推進協議会
	北市民健康づくり御津会議		丈夫で長生きせのお・みしま
	北市民健康づくり建部会議		ふじた健康21
西		健康こうじょ21推進会	
		すこやか福田	
		ひこさき健康21	
		灘崎中学校区21推進会	
		ストレッチ西の会	
	南	いきいき南グループ	

作成する過程で、地域で複数の組織・団体が連携して健康づくりへの取組が活発に行われ、地域のネットワークがより広がり、強化されてきたことが明らかになりました。特に、平成27年度に取り組んだ「ええとこ発見図（市内36中学校区作成のウォーキングマップ）」の作成と普及活動を通じて、地区組織や21の組織だけでなく、新たに企業や学校との連携が始まった地域もありました。組織関係図と感想を抜粋して掲載します。矢印の線の太さで「連携（つながり）の強さ」、矢印の線の方向で「連携（つながり）の方向」を表しました。

組織関係図作成方法 説明資料

組織関係図 ～活動のひろがりを目でみえるカタチにしましょう！～

平成15年度に健康市民おかやま21がスタートしてから、地域で様々な組織・団体が連携をとりながら21に取り組み、さらに平成27年度の「ええとこ発見図」の作成により、活動がひろがっていると思います。
平成29年度で第2次の5年目を迎えますが、現在(平成28年度)どんな組織や団体が21に取り組んでいるのか、またそれぞれの組織・団体とどんな連携をとっているのか、など活動の広がりを目でみえるかたちにししょう。
地域のメンバーで話し合いながらこれまでの活動を振り返り、今(28年度)の状況を図にしてください。
連携(つながり)の強さを矢印の線の太さで、連携(つながり)の方向を矢印の線の向きで示してください。
☆この組織関係図をつくる過程での、メンバーの話し合いを大事にしてください



<実施単位>

任意ですが、小さい単位で実施するほうが図を描きやすいようです。
(組織・団体数が多いと関係が複雑になり、図に描きにくくなります。)

<実施方法>

- ★ 地域で21に取り組んでいる組織・団体を書き出し、それぞれの間に連携(つながり)があるところは矢印で示す
- ★ 矢印の線の太さで「連携(つながり)の強さ」を表す(下記の表を参考に)
- ★ 矢印の線の方向で「連携(つながり)の方向」を表す(一方的に働きかけている段階は片方の向きの矢印で示す)
- ★ 連携(つながり)の内容を記述し、番号をつけて線の横にも番号を記す(①21会議、②ウォーキング、③イベントなど)
- ★ 実施後、作成した組織関係図をみての、実施メンバーの感想(これまでの成果、今後の課題ふくめ)を書いてください
- ★ 図は手書きで提出していただいても構いません。その際は矢印の太さのレベルがよくわかるように記載してください

<実施する上で参考にしてください> (前回H23年度実施をふまえて)

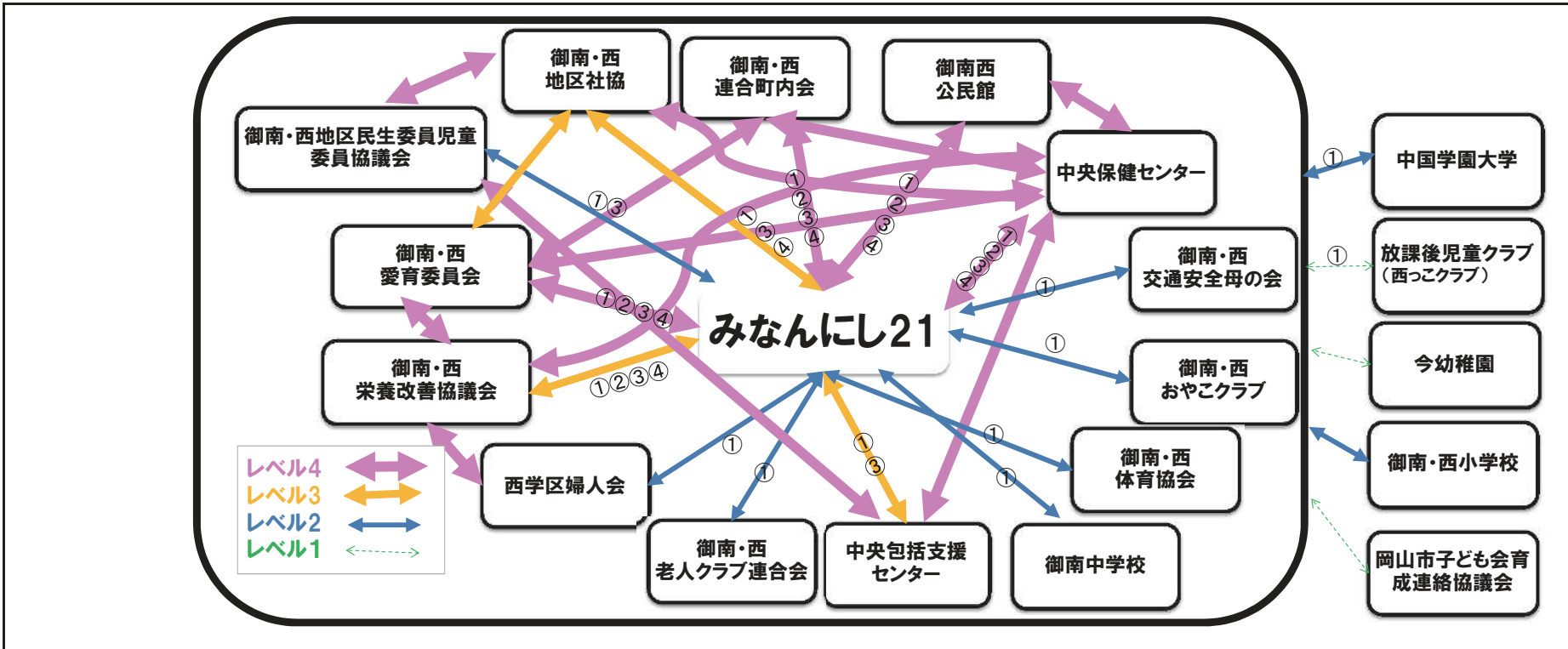
- ◆ 地域の21組織は図の中心に置いて、他の組織・団体との関係を記入していったほうが描きやすいようです。
- ◆ 実施前に、地域の中にある組織・団体(21組織と関係のあるもの)を付箋や紙の札などにみんなで書き出し、模造紙やホワイトボードなどで図を完成させていくと実施しやすいようです。

矢印の線の太さの目安

線の太さ	線なし	← - - - - →	←====>	←=====>	←=====>
	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
段階の目安	まったく連携がない	はたらきかけているが、まだ連携はとれていない	徐々に連携がとれつつあるが具体的な取組はない	連携をとりながら単発のイベントや健康教育などしたことはある	日頃から連携がとれる関係であり、具体的な取組がある

組織関係図

実施地域 みなんにし21 実施者 みなんにし21推進委員（北区中央）保健センター
 実施日（平成29年2月27日）



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成24年度最終評価(H26年3月時点)	0	5	4	11	20
平成28年度中間評価(H29年3月末時点)	3	9	3	15	30

つながりの内容

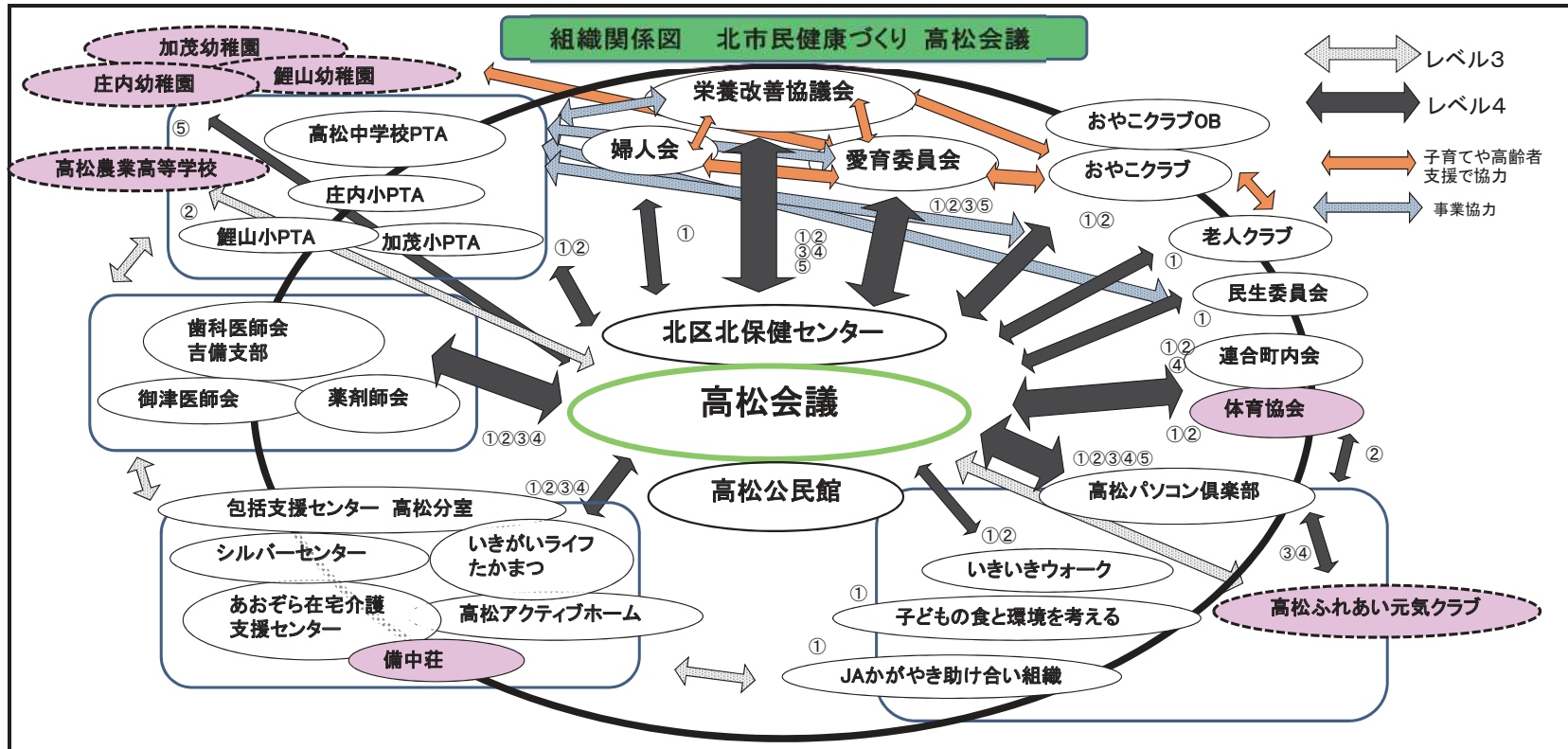
- ①健康まつり
- ②健康講座
- ③企画会
- ④ウォーキング

感想

・ええとこ発見図の作成やOKAYAMA！市民体操を通じて学校関係機関（小学校、岡山市子ども会育成連絡協議会）と関わるきっかけとなった。
 ・子どもたちのいる組織（幼稚園や小学校、放課後児童クラブ）へも市民体操OKAYAMA！を広めていっている経過もあり。今後、みなんにし21の推進会議へも参加してもらえるよう、働きかけていく予定。

組織関係図

実施地域 高松 | 組織名(実施者) 北市民健康づくり 高松会議 | (北区北) 保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成24年度最終評価(H26年3月時点)			8	8	16
平成28年度中間評価(H29年3月未時点)			5	15	20

つながりの内容

- ①高松会議・研修会へ出席、ニュースレター・ええとこ発見図作成
- ②高松会議共催(ウォーキング大会、食と環境・復興フェアで健康ブース)
- ③健康講座主催
- ④公民館講座(高松ふれあい元気クラブ)協力
- ⑤朝ラジオ&OKAYAMA! 市民体操指導・参加

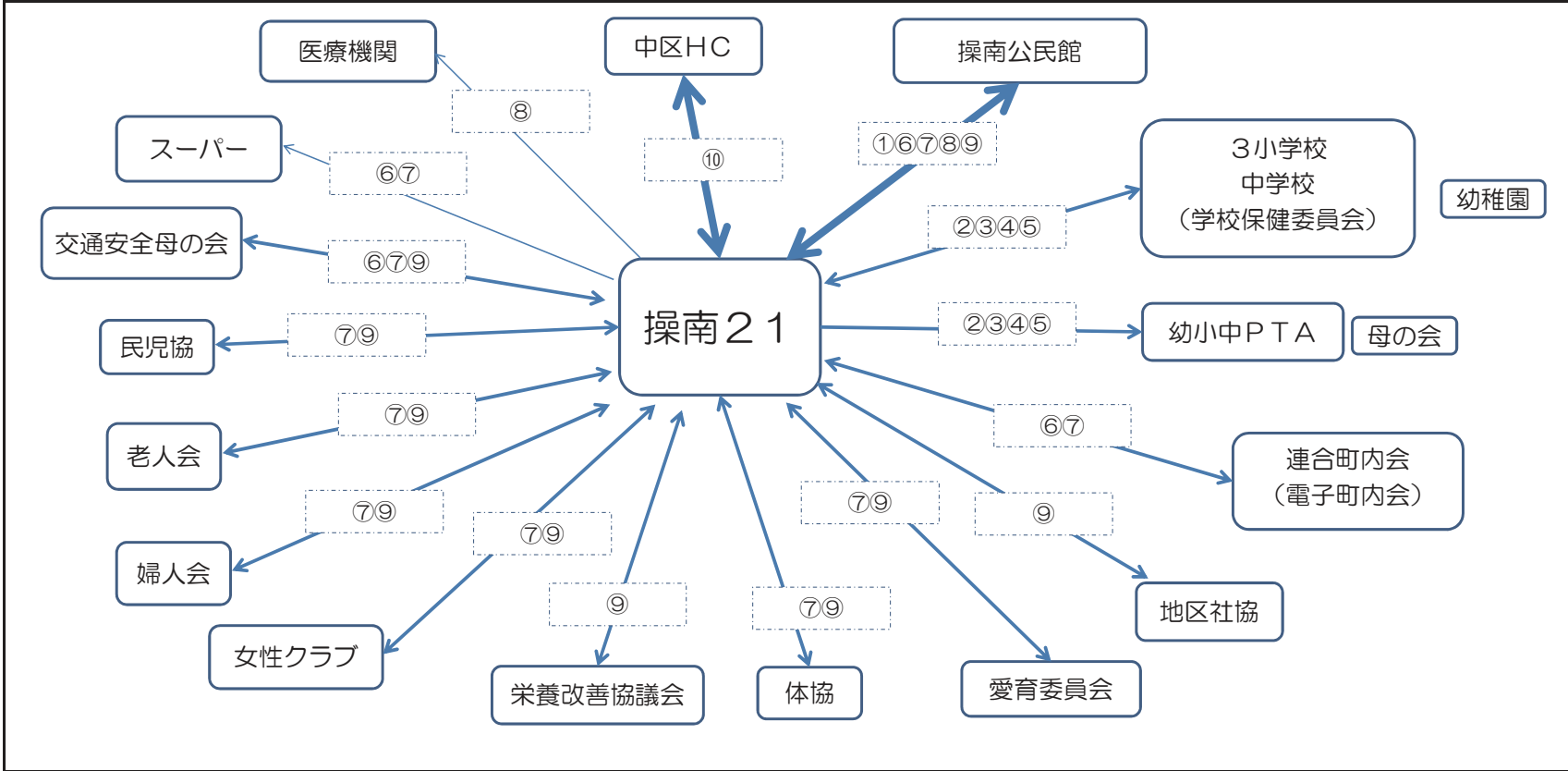
感想

- ・新たな組織の加入もあり、幅広い世代や団体とのつながりができてきている。
- ・ええとこ発見図作成では、会議で各団体から意見も聞き、地域の見どころについて一緒に再認識ができた。
- ・健康に関するイベントや朝ラジオ&OKAYAMA! 市民体操の取組も継続して実施ができ、各団体との協力体制が定着してきており、本年度は新規の場所で体操も開始されるなど、地域の健康づくりの輪も広がってきている。
- ・活動の拡大とともに役員の負担も増えてきている。役員を中心にしながらも各団体と一緒に新たな担い手や健康づくり活動について考えていく必要がある。

組織関係図

実施日（平成29年2月13日）

実施地域	組織名（実施者）	推進メンバー
操南中学校区		（中区）保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成24年度最終評価(H26年3月時点)	7	7	2	1	17
平成28年度中間評価(H29年3月末時点)	0	2	12	2	16

つながりの内容

- ①操南公民館まつりでの健康ブース
- ②操南中学校文化祭での健康ブース
- ③操南中学校学校保健委員会への参加
- ④喫煙予防教室の実施
- ⑤小学校学校保健委員会への参加
- ⑥ウォーキング大会の開催協力
- ⑦ウォーキング大会のPR協力
- ⑧ええとこ発見図の設置協力
- ⑨ええとこ発見図のPR協力
- ⑩健康づくり教室での協力

感想

前回と比べながら作成したが、それぞれの組織・団体との連携が以前よりかなり深まっていることを再確認できた。ええとこ発見図の作成過程で、体協や連町との連携がとれるようになった。未成年者に対する喫煙予防活動や学校保健委員会への出席を通して、小学校・中学校との連携がとれるようになった。また、PTAや校医への働きかけもできるようになった。

マルナカにええとこ発見図を置いてもらうことができた。今後はより多くの地域企業との連携が図れるよう働きかけが必要。

組織関係図

実施日（平成29年2月22日）

実施地域

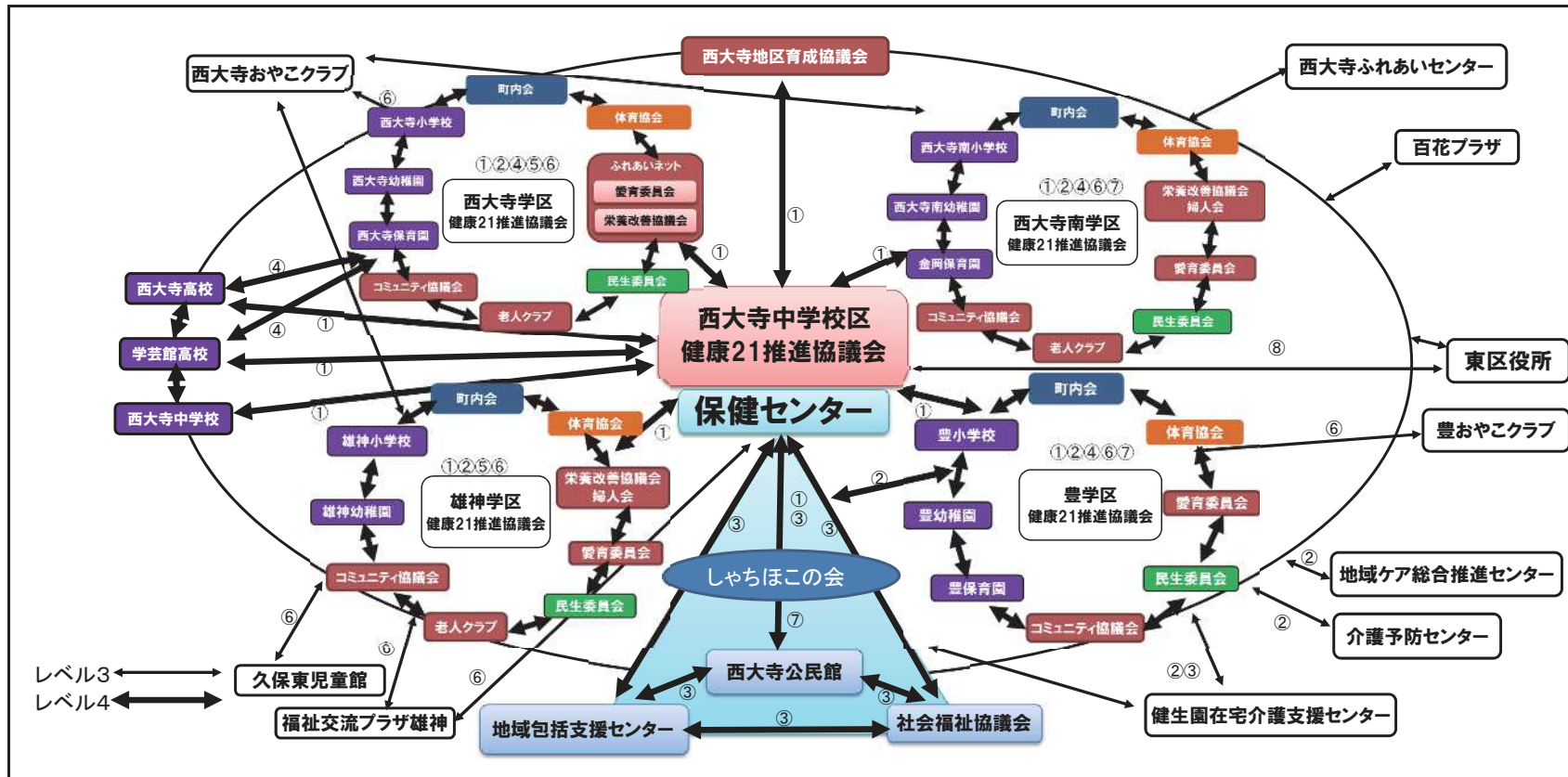
組織名（実施者）

西大寺中学校区

西大寺中学校区健康21推進協議会

（東区）

保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成24年度最終評価 (H26年3月時点)	3	0	1	8	12
平成28年度中間評価 (H29年3月末時点)	0	0	14	55	69

つながりの内容

- ①西大寺中学校区健康21推進協議会
- ②西大寺学区健康21推進協議会、西大寺南学区健康21推進協議会、雄神学区健康21推進協議会、豊学区健康21推進協議会
- ③西大寺中学校区情報交換会（しゃちほこの会）
- ④敬老会
- ⑤運動会
- ⑥祭り（ごふくまつり、冬まつり、豊ふれあいまつり、プラザ祭り雄神）
- ⑦ウォーキング大会
- ⑧広報誌や電光掲示板を使ったPR

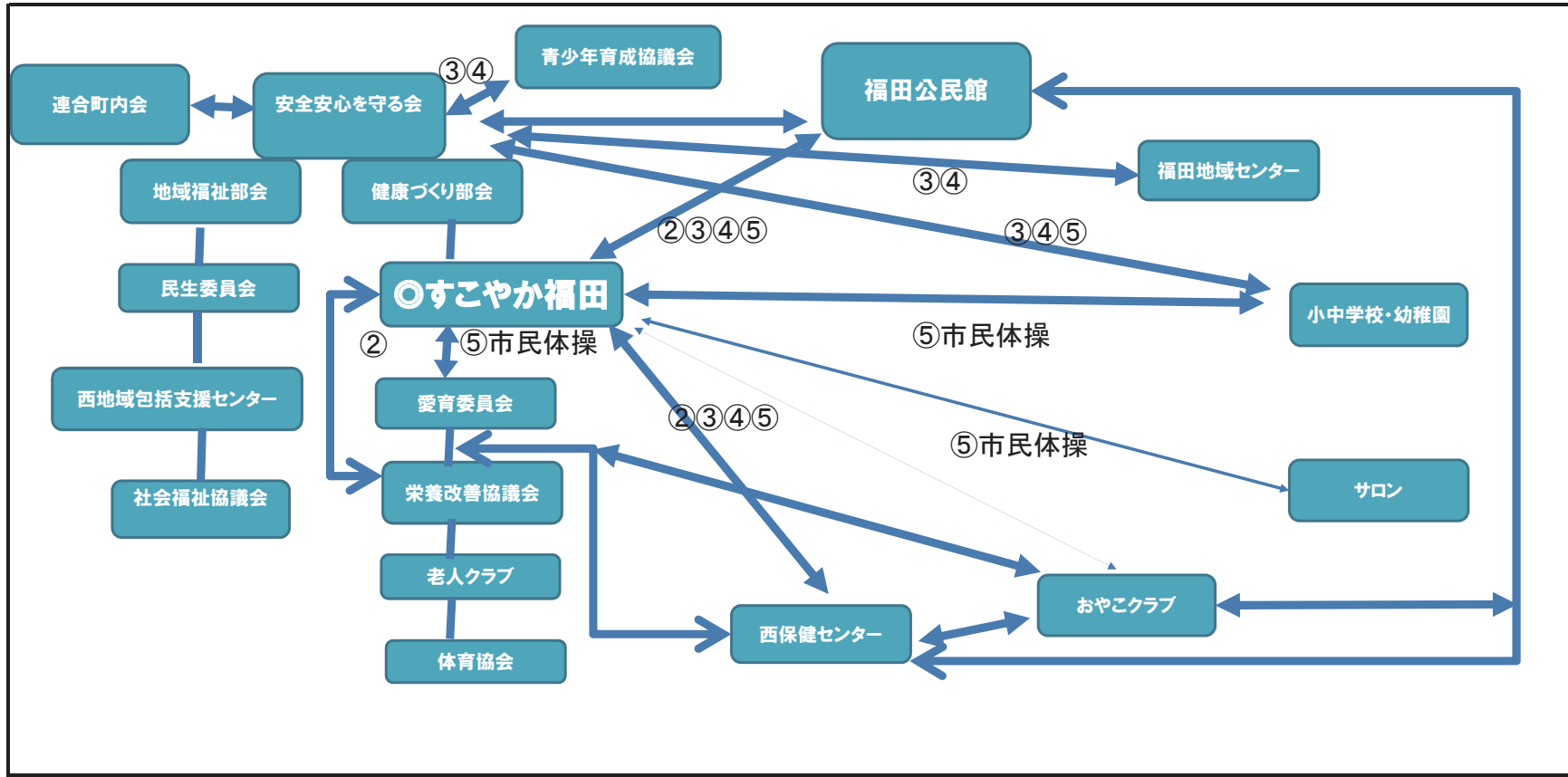
感想

前回作成時に比べて、関係団体が増え、つながりも深まった。平成28年10月に、西大寺中学校区健康21推進協議会立ち上がり、地域の健康課題に応じた取組を展開する体制整備ができた。それにより、お互いの組織が刺激し合い高め合うことで、各小学校区の活動が活発になった。また、教育機関、学校と地域が“健康”をキーワードに新たな関係性の創出を図ることができた。

組織関係図

実施日（平成 29年 2月 23日）

実施地域 組織名（実施者） () 保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成24年度最終評価(H26年3月時点)	0	8	4	13	25
平成28年度中間評価(H29年3月末時点)	1	0	1	7	9

つながりの内容

- ①地域21組織に参加
- ②健康講座
- ③ウォーキング
- ④イベント
- ⑤その他

感想

・安全安心を守る会に構成団体として加入できたことで、他組織と連携が取りやすくなった。
 ・地域のイベント、体協の行事、学校園、公民館講座等多くの場でOKAYAMA！市民体操を実施することができた。
 ・公民館講座で健康市民おかやま21の取組について盛り込んでもらい、普及啓発することができた。
 ・ええとこ発見図を活用したウォーキングイベントをシリーズで実施し、地域に広めることができた。

組織関係図

実施日 (H28.2.28)

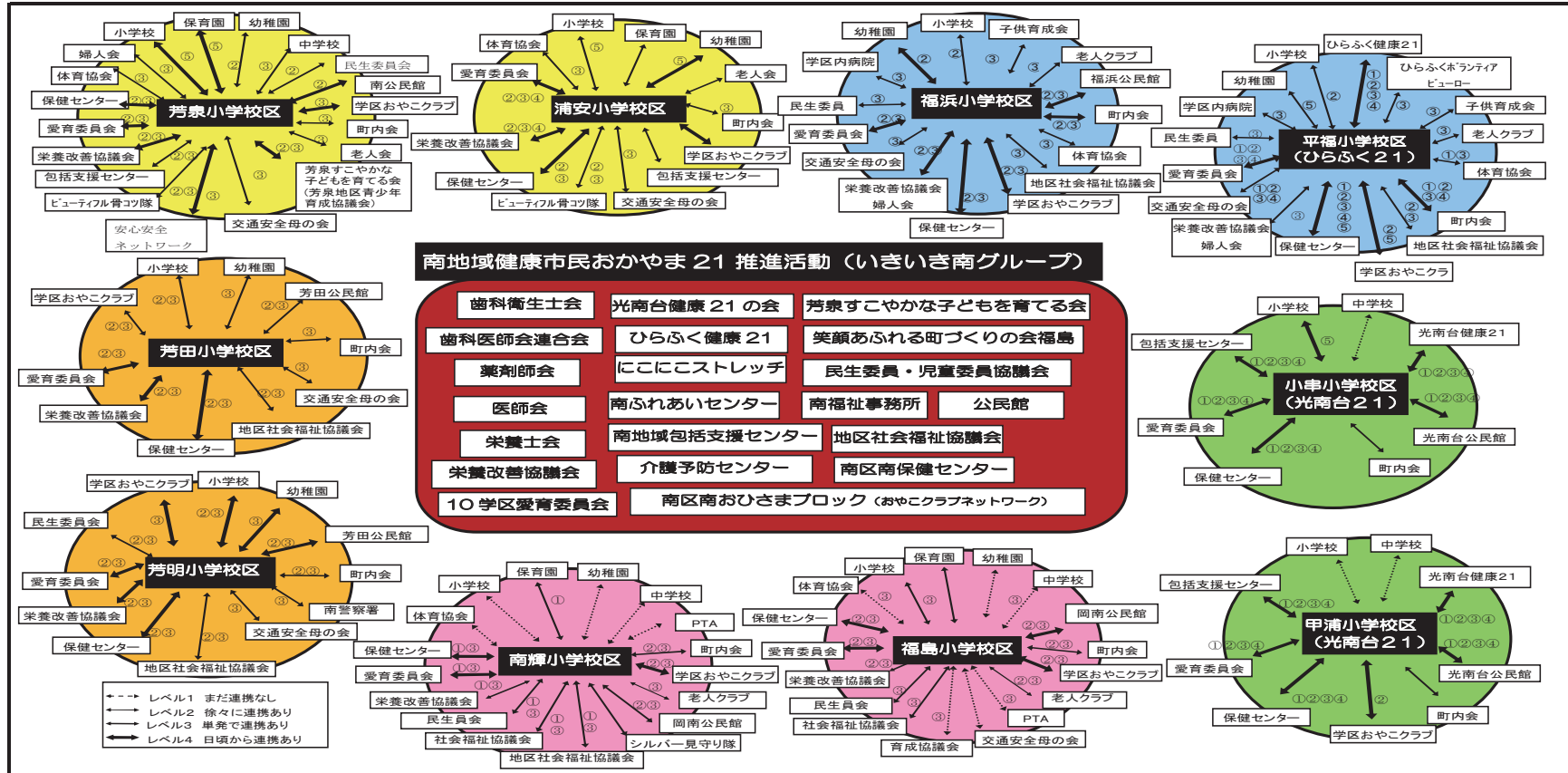
実施地域

組織名 (実施者)

南区南保健センター管内

いきいき南グループ

(南区南) 保健センター



それぞれの組織と関係している団体とのつながりの状況	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	合計
平成24年度最終評価 (H26年3月時点)	5	7	40	47	99
平成28年度中間評価 (H29年3月末時点)	14	2	65	55	136

つながりの内容

- ①地域21組織に参加
- ②健康講座等
- ③ウォーキング
- ④21イベント
- ⑤フッ素洗口

感想

- ・組織のつながりが広がってきており、小学校区ごとの取組が進んでいる。
- ・ええとこ発見図を作成することにより、各学区での町内同士、組織同士のつながりが深まった。
- ・ええとこ発見図を活用したウォーキング大会が各学区で実施できている。
- ・さわやか健康広場や各地区でのイベント、日頃の地域での活動を通して、今後も連携が取れる関係になれるよう工夫や仕掛けが必要である。

組織関係図 作成後の地域21推進メンバーの感想

感想（成果） 一部抜粋

- 平成24年度の最終評価の時より、新たな組織が加入し、連携できる組織が増えたこと、「レベル4」のつながり機関が増え、組織間の連携が強くなったことがよく分かった。
- 「ええとこ発見図」を作成することにより、各学区での町内同士、組織同士のつながりが深まった。また、スーパーのような新たな健康市民おかやま21のアピール場所も開拓できた。
- 「ええとこ発見図」の作成を機に、意図的に誘いかけを行うことができた。
- 健康づくりを進めていくには、地域のつながり・連携が必要と、改めて感じた。
- 何度も会議を開催したことで、組織間のつながりが増強されている。
- 以前より各組織が活発に動き、連携もよくできているが、平成28年度より包括支援センターや市社協も健康市民おかやま21推進会議のメンバーに加わり、体育協会のウォーキングでは「ええとこ発見図」の啓発も行い、より連携が広がっている。
- 組織のつながりが広がってきており、小学校区ごとの取組が進んでいる。
- 学校・園も健康市民おかやま21推進会議には毎回出席され、給食交流会での交流も続いており、各組織間の連携も深まっており、結びつきが強くなっている。
- 立ち上げ以降、会議や健康市民おかやま21のみのイベント等の活動は行われていなかったが、平成28年度に集まる機会を持つことができ、健康市民おかやま21を進めるために組織がつながるきっかけができた。
- メンバーは地域課題にも着目し、課題解決に向けて主体的に考え活動を実施している。
(具体例：地域とのつながりが希薄⇒①他機関のイベントに参加し、働きかけの機会を拡大②若い世代のつながりを深めるため、保育園・幼稚園長の協力を得てイベントを実施③ええとこ発見図の町内会回覧とウォーキング大会実施)
- 地域住民の健康に関する意識や、健康市民おかやま21に対する関心も高まっている。
- 学区間の地域団体の交流も持つことができ、住民の間でも評価されている。
- 若い世代へ健康市民おかやま21の活動が広がってきている。
- 会のメンバーに各小学校区の連合町内会長が加わったことで、地域への波及効果も大きくなると感じる。
- 栄養改善協議会が発足するなど、地域での健康づくりをすすめていく組織もふえている。
- かみしばいを通じて、公立保育園に歯の健康教育をすることができた。
- バラバラの地区の人が一堂に会した。また、縦割りから横へつながった。
- 推進委員会の体制が、H25年度～各種団体・組織の代表を加え、整った。
- 細かい決定事項は役員会で決めることができるようになり、役員体制が充実した。
- 一人一人の力はすごいと思った。

感想（課題） 一部抜粋

- 今後、ええとこ発見図を使用したウォーキング大会を実施していく予定であり、新たに関係ができた組織・団体とのつながりを大切に活動していきたい。
- イベントの内容が通例化しており、健康市民おかやま21の活動として、目的を明確にしながら新規の活動を検討・実施していくことが必要である。
- 日頃の地域での活動を通して、今後も連携が取れる関係になれるよう工夫や仕掛けが必要である。
- 関係機関が固定されつつある。連携を取ることが難しい組織がある。
- 今後は、イベント実施するだけでなく、推進会議の充実を図り、地域の健康課題について話し合う機会をもち、各種団体、組織のつながりを生かした活動展開を進めたい。
- 活動の拡大とともに役員の負担も増えてきている。役員を中心にしながらも各団体と一緒に新たな担い手や健康づくり活動について考えていく必要がある。
- 学校園関係との連携はできつつあるが、イベントでの交流に留まっている。
- 保育園、小・中学校へええとこ発見図を配布することができた。園や学校を通じて、働き世代の人にええとこ発見図がわたり、地域の良さを知ることや運動するきっかけになることを期待したい。